



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

希望記事

- ・ 図書の紹介コーナーがあればいいかなと思います。いろんな分野から参考になる図書について情報があればいいと思います。
- ・ ベストセラーとなっている本の紹介をしていただければと思います。

現状では、各コーナー掲載時に執筆者の著書を紹介しているのですが、別途書籍の紹介コーナーをつくるというののも良いかなと思います。来年度以降の誌面企画の際に検討します。全体のページ数制約の関係で実現できるか微妙なところです。

- ・ 子供を持つ男性が、子供とどう過ごしているか（遊びや普段の生活等）などの記事。例えば私は自転車と一緒に出かけることや、弦楽器による合奏や練習をしたりしています。

子育てに関する公務員のエッセイ（Person）か、または家族に関する寄稿（Family）の単発記事として掲載する方法が考えられます。仕事と家庭生活のバランスという観点から紹介する形が皆さんのライフプランの参考になるかと思っています。

- ・ 登山やランニング、自然との触れ合いが趣味なので、今回の屋久島のトピックスに心惹かれました。すつこく、行きたくになりました！今後もぜひとも熊野古道や白神山地とかを取り上げてほしいです！

四月号から連載している「ニッポンの世界遺産」では、日本に所在する世界遺産を毎月一カ所ずつ紹介しております。現在のところ自然世界遺産・文化世界遺産合わせて一四カ所指定されており、その全部を紹介する計画です。

・ 私の職場には、二名の休職者と一人の出勤困難者がいます。心の病です。私も体を壊し、日々の生活がやっとの状態から心もくたくたになった経験があります。その時感じたことが「食」でした。普段当たり前である食事が当たり前でなくなった時、本当に心身ともにくたびれてました。そうなる前、当たり前の生活が出来なくなってしまう、正常に頭が働かなくなることを体験しました。今回の「食」「ストレス」このことは仕事をもつうえで、ずっとかかわる事…継続的に特集をしてほしいです。

「食」と「ストレス」は、普段の生活に非常に密接に関わっており、なおかつ身体への影響力が高く、皆さんの関心も常に高いことを認識しております。常時というわけには行きませんが、出来るだけ高い頻度で掲載できるよう執筆者の人選を検討したいと考えております。

- ・ 四コマとか載せると軽い感じになっていいかも。JAFMATEみたいに（やくみつるさんの四コマが載ってます）。

漫画を載せるのは良い方向かなと個人的には思います。原稿料の問題が解決できれば、実現させたいところです。

- ・ 最近、何かと話題の「エコ」について、自治体などの珍しい取り組みや、家庭で直ぐにでもできそうな取り組みを紹介してほしいです。

当協会では今年二月に「くらしを豊かにするハンドブック 私たちの環境問題」を発行しており、その中でまさにご指摘のような取り組みを紹介しています。「ALPS」本誌では環境に特化したコーナーを設けておりませんが、執筆記事の形でさまざまな方の取り組みを紹介したいと考えています。

・健康維持のため、気軽に取り組める体操をまた取り上げて下さると、
楽しめると思います。

・簡単にできる体操のページを作ってください！

次号一〇月号より、大阪府内科医会会長の福田正博先生のご執筆で、「腹
やせウォーキング」について三回連載を行う予定です。ご期待下さい。

・地方公務員であるが故に取得可能な資格・技能、取っておいてよかつ
た資格・技能など、生活全般に広がりを持つ資格等の特集。

「取得可能な資格技能の特集」や「一覧」のような、総花的な紹介は今
のところ予定しておりません。これまでも実施しておりますが、「Career」
コーナーの中で、個別の資格や技能について、執筆者（資格取得者）に紹
介して頂く形で掲載してゆく予定です。

その他ご意見

・「退職公務員は行政書士になれる」は初めて知り驚きました。行政事
務一七年ということですが、行政事務の内容（部門等）に何か条件
があるのですか。もう少し具体的に知りたいですね。

小野さんによれば、「行政職の公務員は退職後行政書士になれる」という
ことをご存じでない公務員の方が多いとのこと。詳細な条件については
恐縮ですが日本行政書士会連合会（〇三―三四七六―〇〇三二）または各
都道府県の行政書士会にお問い合わせください。

・『結婚とは』がおもしろかったです。自分と同じような年代でもあり、
重ねて読ませてもらいました。

・独身二〇代の自分にとって、結婚はひとことならぬ関心事であり個
人的に興味深く拝見しました。昨今、目的やスタイルが多様になっ
た結婚。様々な考え方が存在する時代だからこそ、積極的に情報収
集し個々に合ったスタイルを取り合わせ、居心地のいい空間を作っ
ていけたらと思いました。（他同様二名）

・冒頭の『結婚とは』のアラフォー女性の座談会の特集は、無い方が
良かったと思います。無駄なおしゃべりを聞かされているような、記
事を書いた意図が理解できません。

「結婚とは」は、前半三ページで情報提供、後半五ページが座談会でした。
本（当機関誌も含めて）を読むにあたって、

1. 知識を吸収する。あるいは知らなかったことを知る。
2. 考えるきっかけとなり、そのことを熟考する。

という異なる目的があると思います。当該記事の前半は、1. のために、
後半は2. のために掲載しました。すなわち、座談会では結婚はこうある
べきだ、ということ伝えるよりも、記事を通して「ああ、こういう風に考
える人もいるんだ」とか、「私も全く同感」というような気持ちを通じて、
ご自身の結婚（観）を考えてみるきっかけになればいいな、という感性で入
れた記事でした。ご理解ください。

・毎回、お送りいただきありがとうございます。隔月楽しみにして拝
読いたしております。取材・編集そして発行のご苦勞に敬意を表しま
す。いつも発行を楽しみに待っている人がたくさんいるということ
を励みに、ご精進いただきたく、期待しております。御苦勞さまでござ
います。

恐縮でございます。これからも精進いたします。

・「ALPS HEALTH」。カロリーだけを減らそうと意識していた食事が、実は間違っていることを知り、目からうろこです。今回の食事のポイントのほか、具体的な調理例なども心待ちにいたしております。

・「ローカロリーの志向」も少々目にウロコでした。まずカロリー優先で考えていましたが、これも見直さなくてはと思います。

柏原先生の連載は今号まででしたが、内容については、意外に思われた方が多いのではないのでしょうか（私もその中の一人です）。なお、次号（一〇月号）掲載予定の「ライフプラン基礎体験セミナー開催報告」の中で柏原先生の講義内容を紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

・いつもワクワクしながら読ませていただいております。今号は特にNPO活動の内容が印象的です。立ち上げるまでの「苦勞から、資金の事、触れ合う人々との関係など、それを継続していく事の「苦勞が参考になりました。「割田」さんの「つづき」を期待します。

割田さんの連載はいかがでしたか。地方公務員で多彩な地域活動に携わっている方は他にもたくさんいらっしゃると思います。これからも出来るだけ多くの方の活動を紹介してゆきたいと考えておりますので、情報をいただけたら幸いです。

・若い世代にも、中高年にも興味ある内容を考慮して記事を掲載していると思います。「苦勞が多いこと」ですが、今後も楽しみにしております。

ありがとうございます。毎号ごとに年齢バランスを考慮するのは困難ですが、年間を通してみればバランスが取れるようにしたいと考えております。

・読んでいておもしろくて、毎回ためになっています。職場でも大人気です。

ありがとうございます。本誌「ALPS」は発行部数が少ないので、すべての地方公務員の方々のお手元に行き渡らせることは困難ですが、インターネットで過去の記事（一部の記事を除く）をPDF形式で見ることが出来ますので、是非ともアクセスをお願いいたします。そして職場の皆さんにも「ALPS」を広めて下さいますようお願いいたします。

・自分の歳も、五〇を超え退職後のことを考えるようになりました。年金は六五歳から支給となったことから、それまでの間の暮らしが心配でなりません。心安らかに退職を迎えられるか、どうしていったらいいのか。人事課からのアンケートに、「あなたは、退職後も働きたいですか？」という質問がありました。回答には「年金が支給されるまでの間、どうしたら収入を得ることが出来るか教えてくれ」と書き込みました。

六〇歳以降年金が満額支給されるまでの期間における、再任用や再就職のあり方については、現役職員の中でかなり関心が高まっています。当協会が提案するライフプランはこれまで三〇歳代～五〇歳代までの現役職員を主な対象にしましたが、六〇歳代前半の期間こそ、本当にしっかりとしたライフプランの実行が求められると言えます。本誌も、六〇歳代前半の人生を豊かで充実したものにするための情報を、意識して採り上げる必要があるのかもしれませんが。

